

『クモの巣かと思った』 4歳児 1月 伏見こども園

子どもの姿

AちゃんとBちゃんと保育者で話しながら歩いていると、副園長先生が花植えの準備をしているところに出会いました。「一緒に花を植えよう」と声をかけてもらい、二人は嬉しそうに苗を手に取りました。以前、花苗を植えたことを思い出したAちゃんが「先生、どうやって植えるんだっけ?」「こうやって持って・・・」と保育者と一緒に花の苗を黒ポットから苗を外すと、「うわあ、なにこれ」「怖い」とAちゃんは驚いて保育者に見せました。黒ポットの形に沿って白い根っこが伸びてびっしり。「わあ、これは根っこが伸びてきたんやね」と保育者が答えると「クモの巣かと思った」とほっとした表情でAちゃんが言いました。「お世話をしていると、こんなに根っこが伸びていくんやね」と保育者が言うと、じっと根っこを見て、早速プランターに植え付けました。「ふわふわのお布団ですよ」「綺麗に咲いてね」と、パンジーに話しかけながら優しく土をかけていた二人は、もう一度同じように苗を植え付けようと走っていきました。「わ!やっぱりクモの巣みたい」「あははは」と花植えを楽しんでいました。

この場面での子どもの育ちや学び

クモの巣かと思った
(ホッとした)(安堵感)



ふわふわのお布団ですよ
(優しさ)(慈しみ)(大切に)



- ・Aちゃんはクモの巣だと思い驚いたが、白い根だとわかり安心し、面白さを感じたり、もっと植えたいと感じたりしている。
- ・友達と一緒にだと、「クモの巣」のような根のドキドキ感も楽しくなってきた。

- ・パンジーの植え付け方を思い出し、友達と一緒にやってみようとする。
- ・花を育てることで、大切にしようとしたりやさしい気持ちになったりする。

保育者の思い

- ・黒ポットから苗を外した時に現れたびっしり張った白い根は、Aちゃんにとってギョッとするような見た目でした。Aちゃんが「怖い」と保育者にすぐ知らせ、根であることがわかったことで、安心感をもって花植えを楽しむことができたのだと思いました。
- ・花を植える時に、クモの巣のような根を見るときドキドキ感を友達と一緒に味わい、自分が感じたことを伝え合いながら植えている姿がとても楽しそうでした。
- ・これまでの経験から、土を優しくかけることを知っていた二人は、まるで赤ちゃんに話しかけるように土をかけていました。優しい気持ちと、綺麗な花が咲いてほしいという願いがこもった温かい言葉を聞いて心も温かくなりました。

家庭だったら・・・

「ドキドキするけど、ちょっと見てみたい」という気持ちってありますよね。スリルを味わいながらも乗りたいジェットコースターやお化け屋敷。一人より誰かと一緒だと「ああ面白かった」と言える。子どもの生活の中の一場面にもよく似たことがあるのですね。お子さんと一緒にそんな気持ちを味わうのも楽しいでしょうね。